

旭川市報道依頼

各報道機関 様

発表日	令和4年9月 日
発信課	文化振興課
担当者	小川
連絡先	電 話 25-7558
	F A X
	E-mail <a href="mailto:bunkashinko@city.asahikawa.lg.jp">bunkashinko@city.asahikawa.lg.jp</a>

分 類	イベント・行事 募集 契約・入札 会議・説明会 その他 (該当する分類を囲むこと。)
日 程	10月 8日(土)
発表項目 (行事名)	文学講演会
概 要 (趣旨・日時・ 場所・内容等を 記入すること。)	<p>第2回 文学講演会</p> <p>趣 旨:市民に広く文学に親しむ機会を提供することを目的として、旭川工業高等専門学校嘱託教授、石本裕之氏をお招きし、文学講演会を開催いたします。</p> <p>演 題 一味違う入門編！孔子と『論語』—企画展「井上靖 最後の長編『孔子』への道」に寄せて</p> <p>日 時 令和4年10月8日(土)午後1時30分から午後3時まで</p> <p>場 所 井上靖記念館ラウンジ(旭川市春光5条7丁目)</p> <p>定 員 20名(事前予約が必要)</p> <p>参加料 無料</p> <p>申込み 電話(0166-51-1188)またはFAX(0166-52-1740)</p>
添付資料	<p><input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 チラシ</p> <p>(有・無のいずれかを囲むこと。)</p> <p>※ 有の場合、資料の内容を記入すること。なお、別途冊子等の配付を希望する場合は、その旨記入すること。</p>
報道(取材)に当たってのお願い	<p>その他詳細については、井上靖記念館にお問合せください。</p> <p>電話 51-1188 FAX 52-1740</p> <p>担当 荒川・上田</p>
備 考	

一味違う入門編!

# 演題 孔子と『論語』

—企画展「井上靖 最後の長編『孔子』への道」に寄せて

令和4年 10月8日(土)

場所：井上靖記念館ラウンジ

時間：午後1時30分より3時まで

講師：国立旭川工業高等専門学校嘱託教授 石本裕之 氏

参加料：無料 定員：20人

申込：電話で当館まで 0166-51-1188

生涯・73年

さて、何はともあれ、孔子七十三年の生涯に、ひとつと目を通しておくことにする。

孔子の生立ちから始まって、七十三歳で亡くなるまでのことは、前漢の歴史家・司馬遷(145-?)の撰(著述)にたる『史記』に、孔子世家として記されており、門弟たちのことについては『史記』に仲尼弟子列伝として収められている。尊称名は丘、字は仲尼。どちらも、孔子の没後四百年ほど経ってからの取材、編纂であり、どれだけ信憑性があるかは、見当がつかない。実際はまだ、訂正しなければならぬ箇所も現在、幾つか指摘されている。

井上靖直筆 「孔子ノート」

井上靖  
孔子

いまだ生を知らず、  
いずくんぞ死を知らん、  
乱世を生きる(知)が、二千五百年の  
眠りを破って現代に蘇る。 新潮社版

『孔子』

1987年6月から1989年  
5月まで『新潮』に連載  
1989年新潮社より刊行

## 井上靖記念館

# 石本 裕之

Ishimoto Hiroyuki



## ■講師プロフィール

石本裕之

旭川高専嘱託教授。公益財団法人北海道文学館評議員。思想・文学研究者。

昭和 33 (1958) 年、北海道札幌市生まれ。北海道大学文学部卒業、北海道大学大学院文学研究科東洋哲学専攻修士課程修了。道立高校教諭、国立高専教授等を経て、思想・文学研究に従事。

著書は『莊子の中の「孔子」』（響文社）、『宮沢賢治 イーハトーブ札幌駅』（響文社）、『論語の思想史』（共著・汲古書院）、『論語思想史』（共著・臺灣萬卷樓）等。

旭川市文化賞選考委員会委員。『旭川市民文芸』選考委員。これまでに、第 41～50 回小熊秀雄賞選考委員（平成 20～29 年）、旭川井上靖記念館運営協議会委員（平成 21～26 年）・同会会長（平成 24～26 年）等を務めた。平成 19 年より井上靖記念館文学講座を担当。北海道大学中国哲学会、宮沢賢治学会イーハトーブセンター等に所属。

## 井上靖記念館での文学講演（平成 24 年以降）

平成 24 年 「一枚の絵」の中の父母—子としての井上靖

平成 25 年 井上靖『孔子』と『論語』—孔子と弟子たちとのつながり

平成 26 年 『ある偽作家の生涯』を読む—人間や運命に対する井上靖のものの見方について

平成 27 年 井上作品と中島敦『山月記』

平成 28 年 井上靖の最後の短篇集『石濤』から二編—井上文学、老境の対話

平成 29 年 井上靖における、生きることと歴史—短編「生きる」から

平成 30 年 小説「結婚記念日」について—井上靖短編集『愛』から

令和 元年 井上靖小説『花壇』の位置づけ—エピソード 1 亡き娘の幻

令和 2 年 井上作品の中の「対話」—『花壇』エピソード 2

令和 3 年 『星と祭』と“救い”の形 —もう一つの星・十一面観音・祀り・祈り—